

I

恋	8
球体の子供	10
雪とはしご	15
菜の花と麦	18
火の娘	22
運ばれていく	25
犬の匂い	29
小川小判 かがねこばん	32
黒猫ふわり、心に降りた	35
重さと軽さ	38
島々	41
沖縄三泊四日	44
野性時代	48
小さな儀式	52

II

サヨナラ、マタネ	57
球根	59
山岡くんの作文	62
水色のドレス	66
穴	72
最期の声	75
痛みについて	80
大きなひと、小さなひと	83
野にすわる	86
中間に満ちる磁力	89
歌声	91
素の爪	94
窮屈なときは踏み外せばいい	96

III

不揃いゆえの楽しさ

99

節分の夜はお菓子が降る

102

箱の中身

106

湯気の幸福

109

食欲について

112

見えない料理人

115

たこ焼き、くるくる。

118

カリカリでもナヨナヨでも

121

すももの増減

125

キャベツ畑

130

踏切の途中

133

からっぽの部屋

135

坂道の幻影

138

東京氷上世界

141

嵐の夜

144

朝礼のヘルメット

148

子供はピエロの何が怖い？

150

ちいさいおうち

153

真夜中の音

156

乙女の時間

159

夏の終わり

162

薄いお茶の色

165

落ちていく

168

消える

171

時計の登場

174

ビュルビュルを探して

177

IV

何があんなに面白かったんでしょ——「わたしの好きな遊び」というテーマに寄せて

野犬だつたころ——中学生に寄せることば

祭りの昼と夜

すすきのなか

わたしの好きな百人一首

インド・コルカタ・タゴールの詩

再び、タゴール

仲間たち

ツナミが来る

産屋——河瀬直美監督作品『玄牝』に寄せて

あとがき

初出一覧

228 226 222 217 212 209 206 198 194 190 186 184